

令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2025.1.30(木)

事業コード	24-G-12	学校名	中津川市立苗木小学校		住所	中津川市苗木2083
実施日	12月5日(木) 13:35~15:50			受講児童生徒数	65名(6年生)	
開講職種数	4職種	指導者数	7名	参観保護者数	0名	

学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→
・今回の糊塗りは、体験自体難しいものではなかったから諦めの言葉は聞こえなかった。しかし、挑戦する前に大変だと思ったり、ちょっとでもつまづいたりすると諦めてしまう傾向の児童が多くなってきている。粘り強さがある子が少ないと感じている。
・実際に技能職に触れる場(機会)が少なく、正しい知識がないまま職業選択を迫られているのが現状。

会場担当教員アンケートの結果(4会場の先生)

1 この体験授業にて児童生徒にもものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

- ①大変よく伝わった → ②ある程度伝わった →
- ③あまり伝わらなかった → ④全く伝わらなかった →

2 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

→
・粘り強さがある子が少ないと感じる。(建築大工会場)
・実際に技能職に触れる場(機会)が少なく、正しい知識がないまま職業選択を迫られている。(畳製作会場)
・今回の糊塗りは、体験自体難しいものでは無かったから諦めの言葉は聞こえなかった。しかし、挑戦する前に大変だと思ったり、ちょっとでもつまづくと諦めてしまう傾向の児童が多くなってきている。(貴金属装身具製作会場)

指導者アンケートの結果(4職種の各代表)

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
- ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
- ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・キャリア教育を積極的に取り入れている学校が増えている中、講師としてご指名いただき、ありがたく思っています。これからはAIのような人工知能が世の中を席卷し、多くの仕事がロボットに奪われていく時代になろうとしています。仕事を通じて人との“繋がり”を大切にしている私たち職人にとって、自分にしかできない仕事であることに誇りを持っています。そして、仕事とはそうあるべきだと常日頃から感じています。この事業を実施することで改めて原点に立ち返り、自分自身を見つめ直す良い機会にもなっています。私たちの仕事に対する考え方・向き合い方など多くの子どもたちに知って欲しいです。(寝具製作職種)
・苗木小学校の児童・先生方は大変協力的でありがたかった。ただ、会場が2階で、資材搬入が大変であった。できれば、図工室以外の特別教室でよいので、1階の会場だとありがたい。また、指導者の人数は、危険な工具を使う職種だけに、怪我防止の観点から4~5人に増員してほしい。(建築大工職種)
・技能職や自営業のことを子供たちに教えることは、有意義なことだと思います。(畳製作職種)
・様々な職種の現場の話や実技体験を自分の学校内で体験できる貴重な授業だと思います。ものづくり日本の根底を支える現場の職人の仕事が「どんなものなのか？」を小・中学生のうちに授業の一環として学ぶ、触れ合うことは将来のものづくり日本を支えるためにも重要だと思いますし、自分の子供にも是非こうした体験をさせたいと考えています。(貴金属装身具製作職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

	寝具製作	建築大工	畳製作	貴金属装身具製作	
指導者数	1	3	2	1	
受講児童生徒数	16	16	17	16	
回答	とても満足した	16	12	15	10
	ある程度満足した	0	4	2	6
	あまり満足できなかった	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0
	合計	16	16	17	16

		合計(左:人 右:%)	
指導者数		7	
受講児童生徒数		65	
回答	とても満足した	53	81.5
	ある程度満足した	12	18.5
	あまり満足できなかった	0	0.0
	満足できなかった	0	0.0
	合計	65	100

寝具製作会場の様子



先生の感想

・自分のやりたいことを追求する生き方、お客様を第一に考えて技能をマスターし、喜んでいただくことに全力を傾けるその生き方に感銘を受けた。座布団づくりの体験では、実演→体験→実演→体験と作業を細かなステップで進めていただき、職人技の一端に触れたり、自分の力で完成した達成感を味わえたりできた。
・作業を細分化して誰も取りこぼさないこと、出来栄をその都度評価することなど、大変勉強になりました。

児童生徒の感想

・座布団づくりのときに、丁寧にコツやポイントを教えてくれて分かりやすかった。
・綿の形を整えたり、きれいに生地を被せたりと難しい作業が多かったので、毎日何個もこれを作っている職人さんはすごいと思いました。
・講話の時、たくさん質問しながら話されていたので楽しかった。なぜ寝具の職人になろうと思ったのか、寝具を作り続けて気付いたことあるのかということを知ることができた。
・綿もハサミで切ると思っていたから、手で切れるというのが衝撃だった。もっと器用に綿の形を作りたいかった。
・綿を布に詰めるとき、しっかりと持ってから入れると真剣に話していたので分かりやすかった。面白く話したり、真剣に話したり、とても楽しかった。
・職人さんが寝具製作をするときの様子を詳しく見たいと思った。
・その人に合った布団を1つ1つ丁寧に作っているというお話が印象に残った。
・座布団を作るとき、適当に綿を詰めるんじゃなくて、ちゃんと綿を折りたたんで丁寧に詰めるということを経験を通して知ることができた。
・綿はたくさん種類があって、生産国によって柔らかさや綿の長さなどが違うということが印象に残った。

建築大工会場の様子



先生の感想

- ・職業講話では、仕事の大変さについての話で、「大変なことがほとんど」とおっしゃっていたことが印象に残った。子供たちにも働く厳しさを伝えていただきありがたかった。製作では、常に優しくいただき、子供たちがとても楽しそうに活動することができた。できた作品も立派なもので、大変満足していた。
- ・安全面にも配慮していただき、けがなくできたことがありがたかった。お話や活動時間も丁度よかった。

児童生徒の感想

- ・家を作るのがどれくらい大変なのかをもっと知りたかった。職人さんの作品や作った物をもっと見てみたい。
- ・最初にやった丸太を切ったことと、丸太にペンを立たせる穴を開けた時が印象に残った。他にも学んだことを生かして色々な物を作っていきたいと思った。
- ・木の丸太を切っていたとき、意外に切れなかったもので、プロはどのくらい早いのか見てみたかった。
- ・苗木で生まれた方が建築大工の担当の職人さんだったのでビックリした。
- ・大工というのは難しい仕事だけど、徳川家康の一言を考えながら作るということが実にすごいことだなと思った。
- ・丸太を切るのはしんどかったけど、良いものが作れたので良かった。

畳製作会場の様子



先生の感想

- ・ものづくりの仕事に初めて関わるとも貴重な体験であった。
- ・ミニ畳づくりでは一人一人が正しく製作できるよう、丁寧に指導して下さった。
- ・樹脂製の畳と、い草の畳の違いについてわかりやすい説明があった。素材の違いで学力に差が出ることも子どもたちにとっては興味深いものであった。
- ・自分が製作したミニ畳だけではなく、ごしまでお土産としていただくことができ、児童たちは大変満足した様子であった。
- ・児童たちも「楽しかった。」と口を揃えて言っており、大変良い講義だったと感じます。ありがとうございました。

児童生徒の感想

- ・畳作りは機械を使うこともあるけど、手作業で1から作る時もあることが印象に残った。
- ・畳は安いもので1万円ぐらいだけど、高いものだと10万円もするものがあると聞いてすごいと思った。畳の注文は年間で400~500畳ほどあるということにビックリした。
- ・畳のことに詳しく知らなかったけど、職業講話で知ることができた。い草には成績が上がる効果があってビックリした。
- ・ミニ畳作りは作るのが楽しかったのもっとやりたい。色々な畳表やへりがあって、選ぶのにとっても悩んだ。最初は難しいのかなと思ったけど、意外と簡単にできたので良かった。
- ・畳を作ることの大変さや、畳の長所を知ることができた。
- ・大きな針で力を入れて畳を縫ったことが印象に残った。い草から畳を織るところが見てみたい。教え方が分かりやすく、すごくいいミニ畳ができて良かった。
- ・機械で畳を作るときのメリットとデメリット、手作業で畳を作るときのメリットとデメリットが印象に残った。
- ・ミニ畳づくりは難しかったけど、先生たちが優しく教えてくれたので嬉しかったし楽しかった。
- ・畳を作る原材料には、い草だけではなく人工のものもあるということが分かった。

貴金属装身具製作会場の様子



先生の感想

- ・自分で釉薬を塗り、窯で焼き、釜から出てきたときの自分のアクセサリーの色が、冷めていくにつれ七宝焼きの深みのある綺麗な色に変化していくところに興味を示す児童が多かった。つくる喜び、できあがる喜びを体験することで、意欲的に学ぶことができた。また、違うアクセサリーも作ってみたいという関心・意欲を持つことができた児童が多かった。
- ・ものづくりに対し、全て機械で作っていると思っていた児童が、講話を聞いたことで、細かな作業ほど手作業であることに気づき、その大変さと、できあがったときの嬉しさやものづくりの楽しさから、仕事に対するやりがいを感じていた児童もいた。よい学びができた貴重な体験となった。
- ・自分で作った作品を見て、満足そうな表情であった。見るだけ、聞くだけでなく実際に体験することは、まだ眠っている子ども達の職業観をくすぶらせるきっかけになると感じた。
- ・講義や映像だけでなく、実際にものづくり体験ができたことが、児童にとって作る楽しさ、喜びを感じることに繋がった。体験授業にあたり、たくさんの準備ありがとうございました。

児童生徒の感想

- ・指輪やネックレスなどはあまり興味がなかったけど、ダイヤなどを見せてもらって、アクセサリーに興味を持った。
- ・七宝焼以外のアクセサリーも作ってみたいと思った。楽しかった。
- ・先生が作った指輪を見せてもらったので、他のネックレスや他の作品も見てみたかった。
- ・他の指導者の方が行っている指輪作りもやってみたくなった。
- ・何となくやり始めた仕事でも、辛抱強く続けていると、いつかはやりがいを持てることもあるというお話が印象に残った。
- ・七宝焼づくりは、最初はどのようになるか想像もつかなかったけど、出来あがったときにすごくキレイだなと思った。
- ・楽しかったし、焼くときの温度がすごく高くて、機械から出る風だけでも熱かった。また、焼いた直後にはちょっと黒っぽかったけど、時間と共に透明になってきて、すごいなと思った。
- ・大体の工程が終わって、オープンで焼く工程があった。焼いたあと、しばらくは黒っぽかったのに、数分後にはきれいな色になっていたことがすごく不思議だった。
- ・銅の葉っぱの上にゆう薬を乗せていくのが楽しかった。焼き上げて完成したのを見たら、あれがこんな風になったのか、と感心した。
- ・イエローダイヤモンドを見て、そのことについて解説してくれて分かりやすかった。
- ・ジュエリー製作の仕事に就いた理由がすごかった。
- ・指輪の作り方で、最後の方は人の手で仕上げをしていることが分かって、印象に残った。